

10月11日に教育のためのグローバル・パートナーシップ（GPE）についての国会議員勉強会を開きました。参加議員は呼びかけ人になっていた阪口直人さん（衆議院）、山内康一さん（衆議院）、亀井亜紀子さん（参議院）の他に、田中美絵子さん（衆議院）、藤谷交信さん（参議院）の計5名の議員と秘書の方の代理参加が4名ありました。その他、NGOや学生、JICA、メディアなど計13名でした。

Global Partnership for Educationのオペレーション分析官であるApril Goldenさんより、GPEの意義、実績、日本の貢献が非常に少ないことについて発表がありました。JNNE事務局長の三宅隆史は、日本政府によるGPE基金への拠出増の必要性を提案しました。

自由討論では、亀井議員は、教育分野の援助はインフラと違って、二国間よりもマルチの方が適しているのではないかと述べられました。Aprilさんより、日本よりマルチを通じた支援割合の高い英国のDFIDは多国間援助機関の評価を行い、GPEは高い評価を得たことを紹介しました。進行を務められた阪口議員は、「顔が見える援助」よりも「役に立つ援助」の方が大切だと、しめくられました。

最後に、10月11日は国際ガールズ・デーであったことから、プラン・ジャパンが呼びかけている、Because I am a girl キャンペーン (<http://www.plan-japan.org/girl/index.html>)のRaise your handをみんなで行い、記念撮影をしました。

